

◇◆真理の探究メルマガ◇◆

%name%さま

こんにちは、西です。

「逃した魚は大きい。」という話。

さて、何回か前の独り言シリーズの通信で、過去に僕自身「やらないやらない」と散々言っていた“投資”を始めることにしましたと。

それっていうのは、今までの関連の通信を読んでもらえれば明らかなんですけれども、僕は個人的に、若いうち（あまりお金を持っていないうち）からゴリゴリに投資で資産形成を目論むというのは否定寄りの意見を持っていて、

お金の蓄えもあまりないうちにやっても、稼げる額はたかが知れてるし、

だったら「自己投資」に全振りした方が、その後のリターンの可能性を鑑みれば、明らかにその方がいい、というのが基本スタンスです。

とは言え、かつて読者の人から、

「やってみないとわからないこともあるんじゃないの？」

という素朴な感想を頂いたので、じゃあ比較的余力のある今こそ少しだけ足を踏み入れてみようか、ということで現在に至るわけですが、

実際に、投資（主に株式投資）をやってみて、やったからこそ“わかったこと”というのを今日はシェアしていこうと思います。

以下、あくまで個人的な意見ということにご注意いただきたいのですが、そんなこと言いだすとこのメルマガ自体が個人的な意見の塊なんじゃないのか？とか思わなくもないですが、

まあそれはさておき、ここからはあくまで「僕の」投資観です。

で、一言で表すなら、

“やっぱり時間が勿体ないな”

というのが一番大きい。

株式投資の世界ではよく言われることなのですが、株で最も稼ぐ人というのは、

- ・株を買って、買ったことを長年ずっと忘れていた人。

もしくは、

- ・死人

だと言われています。

つまり、頻繁に株価や経済動向なんていうデータを逐一見ながら売り買いする人よりも、買ったままずっと長期保有している方が、結果的に利益は大きいという事です。

もちろん、これ自体は僕は投資を始める前から情報としては知っていることなので、長期保有を前提に株式をいくつかの種類購入しているわけですが、

それでも、決して少くない金額を実際に投資してしまっていると、日々の株価の動きとかは頭の中で気にしてしまっているし、

そして今はスマホで簡単に情報が見れるから、暇さえあれば「見ちゃう」んですよね（苦笑）

で、「あっ上がってる！」とか「今日は下がってるな。。。’とか、

情報として常に目の前に入ってくるわけです。

データが目で見えるからこそ、

「やっぱりこの株は辞めておいた方が良かったかな。」

とか、

「これもっと買っておけばよかったかな。」

とか、そういう余計なことを考えるし、さらに悪いことに、

「こんなに急激に株価が上がるのは異常だから、今のうちに利益確定して、また下がったら買い戻そう。」

とか、

「利益確定したら税金が発生するから、含み損の株を売って利益相殺して、また買い戻そう。」

とか、

「ルール上、当日中に買い戻すと損失換算出来ないから、明日買い戻そう。」

とか、

「あっ、1日待ったら株価上がっちゃったよ。。買い戻せねえ。。」

とか、

「う～ん、やっぱり他の会社の株が欲しくなってきたなあ。。」

などなどなどなど、まあ余計なことをやりまくって今に至っているという（笑）

で、ほぼ2カ月、結構な頭のリソースを持っていかれた上で現状得られているリターンは、せいぜい投資額の数%程度なわけで、

この利益っていうのも、別にこれは僕の努力の賜物というわけでもなく、今は株式相場が全体的に上向きなのでたまたま利益が出ているに過ぎないだけで、

もちろん今後は下がることもあるだろうし、どうなるかは分からないわけです。
（非常に長期で見れば、上がっている可能性の方が高いのではないかと、程度のもの。）

そして更に言えば、株価っていうのは基本的にその会社が上場してからの過去のデータを遡って確認できるので、会社にもよりますが、

「うわっ、2年前にこの会社の株買っとけば、いま10倍じゃん...!？」

なんて会社は結構ありますし、
コロナ以降ここ数年は全体的に上がっているんで、10倍とは言わずとも数倍程度の値上が

りなら有名無名問わず、めっちゃめっちゃゴロゴロ転がっています。

なので、

「うわぁ〜...あの頃始めておけば今頃資産5倍じゃん！」

ってというような、マジで考えるだけで時間を無駄にすることを延々考えられるんですよね。データを見るたびに。

つまり、株式投資には、こういう“今という貴重な時間を無限に溶かしうる”罠が結構存在するし、

それに対して事前にわかっていて気を付けている僕でも、いざその現場に遭遇すると、「うわ」と思うくらいには精神に多少の影響を与えているなどという実感がある。

つい先日ですが、

進研ゼミで有名なベネッセの株を買うかどうかを一晩中、いろんな情報を収集しながら考えて、結局見送ったところ、

その一週間後に MBO 発表して瞬時に株価爆上がり（約 1.5 倍）、なんてこともありました。

「あの時買っておけば。。」

っていう、文字通り“逃した魚は大きい”っていうのを、このたった2カ月という期間ですら何度か経験するくらいには、

結構な確率で、そういう事象が転がっているわけです。

株式投資の世界はよく「メンタルとの戦い」と言われたりもしますけれども、これはその通りだなと。

少し横を見れば、そういう逃した魚が大量に泳いでいるし、

自分の保有している株がいきなり爆上がりすると、脳汁あふれ出て頭がおかしくなりそうになるかもしれないし、あるいは「もっと買っておけば」という後悔に苛まれるかもしれない。

逆に暴落すると、冷汗が止まらなくなって日々の仕事にも支障が出る、なんて人も少なく

ないでしょう。

さらにヤバいのは、自分の持っていない株が暴落すると「ざまあw」的なる、マジでそれが自分になんのメリットがあるんや、っていうようなタイプの脳汁が出る人もいて、

とある株の掲示板なんかを見ると、そういうヤバい奴らの温床になっていたりするんですけども、

そういう意味でも、メンタルとの戦い（笑）

とまあ、なんやかんやいろいろと書いてきましたけれども、つまりは、ほぼ2カ月の期間を使って、かなりコスパの悪いタイプの学習をしたなど。

最終的に2カ月やって得た結論が、最初にわかっていたことに対する“実感を得るだけ”という事なのだから、

勉強として得たリターンというのも大したことがないという、結局なんの2カ月だったんだろうという（苦笑）

まあ比較的、一年の中では余裕のあるこの時期を使って今年はこの体験をしてみました、

近々開講予定のお金に関する講座でも、お金の動きとして投資的なる事は無関係ではないので、全く関係しないという事ではありませんが、

いわゆる「投資で稼ぐ」というような話しはしません。

あくまで、ここで「お金を稼ぐ」としているのは、

目の前の人からお金をいただくという事が、どういう原理原則に基づくもので、その原理原則から自分が身に付けておくべき「力」とは何なのか、というところがベースなので、

自分が何かに投資してリターンを得るというタイプのものではないですし、

むしろ逆に、自分が誰かから投資されるようになるんだ、という発想の方が近いかもしれませんが、

お金を稼ぐというのは、そういう視点の行為です。

■幸福の体現

さて、今はお金の講座に向けて準備を進めていて、これからしばらくの間は「お金」の話しを色々としていくことになると思うんですが、

改めて確認しておきたいのは、これまでの通信でも何度かお伝えしているように、お金とはそれ自体が幸福をもたらすものではなく、

あくまでお金の正体というのは、ただの「権利」に過ぎません。

つまり、お金を多く持つ人は、持っていない人よりも行使できる「権利が多い」という状態にあるだけで、それ自体は別に幸福とは関連しないわけです。

だけれども、あまりにも権利を行使できない状態（≡お金のない状態）では、人生において制限が多く、

やりたいことができない、いわゆる我慢させられているような状態になるわけで、それが「ストレス」という形で体現して、幸福から遠ざかっていく要因になり得ると。

“お金の実態はあくまで「権利」”

だけれども、最近僕が不思議に思うのはこの「権利」を大事にしない人が多いのではないかと。

権利というのは別にお金のみによってもたらされるものではないですよ。

約束だったり、法律だったり、自然発生的なものだったり、お金を介さないタイプの権利も世の中には多く存在していて、

これはあくまで僕の感覚なんですけれども、そういうタイプの「権利」を大事にできる人ほど、お金の多少に関わらず、幸福に近いような生き方をしているように見えるわけです。

例えば、これは僕は人生において「大きな権利」だと思っているものの一つなんですが、日本には、

“育児休業”

という制度があります。

自分の子どもが生まれた時、男女問わず、満1歳までの期間、休業しながらも一定の給付金を受け取ることができる「権利」で、

基本的に会社員（あるいは公務員）であれば、殆どの人が取得条件を満たす制度なのですが、

男性の取得率は（上昇傾向にあるものの）いまだに2割未満で、しかも満期で取得する人はほとんどいません。

取得しても数週間とか2カ月以内とかが多い。

給付金の支給額は、現在は概ね給料の6割程度（期間によって異なる）ですが、休業中は所得税や社会保険料は払わなくてよいので、

実質的には普通に働く場合の8割程度の金銭が補償されるような感覚ですが、これは言うてしまえば、

「働くことなく（最大1年間）給料の8割を受け取ることができる権利」

とも言えるわけです。

不思議なもので僕自身、初めて子どもを授かったのが24歳の頃で、当時は夫婦共働きだったのですが、働けど働けどなぜかお金が貯まらなかったのに、

育児休業を取得している期間のほうが、なぜかお金が貯まり始めたのは未だに未解決問題なのですが（車も買えたし）、

育児休業というのは、労働者にとっては人生最大と言ってもいいくらいの「大きな権利」なわけです。

だけれども、この権利をほとんどの人（特に男性）は放棄していると。

そして、子どもが生まれてから満1歳に至るまでの期間限定イベントなので、後から取り戻すことができない権利でもある。

もちろん、人によっては仕事を続ける事もまた「その仕事ができる権利」でもあるわけなので、いろんな事情で他の権利との兼ね合いでそれを選択しないという判断もありうるわけですが、

割と多くの場合、なんとなく放棄していることもまた事実です。

「育児休業なんて、とても取得できる雰囲気じゃない。」

みたいな、単に職場の空気感に抗えずに取得できない人も、未だに多いことでしょう。

いずれにしても、お金を持つ人ほど、この「権利」とか、あるいはその対極にある「義務」という部分に関して、かなり敏感な印象があります。

ある行動を取るときにおいても、それによって得られる権利だとか、あるいは課される義務だとか、そういうことに凄く敏感で、

そこを曖昧になんとか過ごしていない人が多い。

それっていうのは、お金の正体というのが「権利」そのものだし、自分が権利を行使することは誰かほかの人に「義務」が発生することだし、

あるいはその逆の流れも当然あるわけで、この「権利」と「義務」に対するアンテナはかなり敏感です。

だから、

「なんで家に帰ってまで学校から勉強を強制されないといけないんだ！」

と、いつも宿題に対して喚いているうちの子は、かなり素質があるかもしれない（笑）わけで、

常識を一旦全部取っ払って、よくよく考えてみれば確かにそうなんですよね。

学校（行政）が、子ども（一般市民）に対して、宿題という「義務」を課するのは、一体どういう法的根拠に基づくものなのか？

っていうのは、実は個人的にも未だに疑問は持っていて、

一般に「義務教育」というのは法定された国民（子ども）に対する義務的性質の強いものだし、

だからこそ、義務教育を定める「法律」が存在して、それによって国民（子ども）は小学校と中学校に通うという「義務」が日本では課されているわけだけでも、

実は「宿題」についての法的な明文はないんですよね。

あくまで、慣習的に当たり前課されている義務というだけで、明確な法的根拠がないので、

家庭での宿題を義務とするのは、学校による行政権の濫用ではないか？

というような理論も成り立ちうるので、「権利」「義務」に敏感な人なら、これって割と疑問の種になりやすい部分なんですよ。

（あくまでここでは「権利」と「義務」のみに着目して考察している点には要注意。宿題をやる必要がないとか、そういう主張では全くありません。）

こういうのが日々生活を送る中で身の回りにたくさんあるわけですね。

もちろん、こういうのに疑問を持つこと自体は思考の訓練として別にいいのだけれども、これらに対していちいち「対抗」しようとする、あまりにも常識的すぎる内容であることが多く、普通の人とは話しが噛み合わないし、

普通に「変な人」扱いされるだけなので全くお勧めしませんし、個人的には「長いものには巻かれる」というのは時にストレスを最小化させ得る優秀な戦略だと思っているので、それを採用するようにしていますが（苦笑）

でも権利義務に対して敏感であること自体は、「お金」というものを語るうえで非常に重要な視点だとは思っています。

お金は稼ぎたいのに、実際にその実態である権利とか義務に鈍感というのは、言ってしまえば見えない空気を掴もうとしているようなものなわけで、

頑張っても頑張っても指の隙間を抜けていくだけで、一向に手中には収まらないわけですね。

「お金は空気みたいなもの」というのは一部ではよく言われていることですがけれども、まさしくその通りで、空気と同じように、存在だけならそこら中に存在しているわけです。

だけれども、正しく「循環する機能」を持っていないとどんどん苦しくなってくるのは、人体と全く同じです。

ということで、なんか今回もあまり纏まりの無い内容で、投資を始めて見た所感と、今後のお金の講座に関する導入的な内容でした。

新講座は年内には募集できるように準備を進めていますので、もうしばしお待ちくださいませ。

では、今日はこの辺で。

最後までお読みいただきありがとうございました。

西

『真理の探究』会員サイトはこちら

URL : %SERVER%sp/%seller_id%/item_id%/member/top.html

メールアドレス : %mail%

パスワード : %password%

※バックナンバーはこちらからお読みいただけます。

運営者情報

<https://jscatch.com/tokushoho/>

メルマガの配信解除はこちらから

[%cancelurl%](#)

